



最優秀賞
「伸びる夢、伸ばす手」

あんないっしょ、いっしょあんないっしょ

HOME PLANET

写真
5
8/19

ふるさとの木で緑豊かに

御荘 B&G 海洋センターで、愛南町の木ウバメガシやタブノキなど 20 種類約 400 本の苗を植える「植樹祭」が行われ、町内の小中学生など約 50 人が参加しました。

愛南町では、平成 24 年度から「B&G 海を守る植樹教育事業」に取り組んでおり、同年 11 月に東海小学校の児童が採集したドングリから大切に育て上げた苗 5 本も、この日植えられました。

植樹は、その土地本来が持つ自然の力を活用し、混植・密植により森を育てるという「宮脇方式」を考案した宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導のもと行われ、子どもたちは、緑豊かな森に育つよう願いを込めながら一本一本丁寧に苗を植えました。

本日!海日和!! vol.47 「鋼鉄の体?」



鋼鉄魚

10 月も後半になるとあちらこちらで木々の葉が色づき始め、人々の目を楽しませてくれる。

その中でも、高地に自生しているナナカマドの紅葉は美しく、テレビでもよく話題になる。名前の由来には諸説あるらしいが、7 回竈(かまど)に入れても燃えないほど材が堅いからというのが一般的なようだ。

キハツクの名前にも同じような由来がある。漢字で書くと「木八束」となり、木が 8 束という意味である。キハツクの身は堅く、おいしく料理するためには、木が 8 束も必要だということらしい。

そうすると、キハツクを料理するには、ナナカマドの木が最適なようである。いやいや、8 対 7 で、キハツクは生煮えかもしれない。本当はそこまで堅くないのだろうが、機会があればぜひ食べて確かめたいものである。

(撮影地: 鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照

写真
6
9/11,12

真珠を使って・・・

ほっと計画委員会(河野満代表)などが主催する「第 18 回パールジュエリーデザインコンテスト」の審査会が DE・あ・い・21 で行われ、審査員 8 名が 30 の都道府県とオランダなど海外 3 か国から応募があったリングやネックレスなど 226 点の作品を審査しました。

審査会では、最優秀賞に畠中正義さん(神奈川県)のネックレス「伸びる夢、伸ばす手」を選んだほか、優秀賞や特選、特別賞など入賞作品を選定しました。



写真1
8/ 21 ふるさとコンサート
も大盛況

御荘夏祭りは、平城小トランペット鼓隊のオープニングパレードや愛南サンバに合わせた小中学生、各種団体による踊りパレードなどで賑やかに幕を開け、会場となった平城商店街周辺が浴衣姿の親子連れなどで賑わいました。

また、僧都川河川敷では、愛南町出身の歌手、礼奈さん、テノヒラのkikuさん、山本智子さんによる「ふるさとコンサート」が行われたほか、壮麗な花火大会もあり、多くの観客を魅了しました。

写真2
9/ 6 伝統受け継ぐ
緑八朔相撲

伝統ある「緑八朔相撲」が緑ふれあい広場土俵で開催され、小学生の部に約50名、一般の部には中高生を含む約30名が参加しました。

小学生の部(個人戦、団体戦)に続いて行われた一般の部では、団体戦や勝てば連続して取組を行う三番勝、五番勝などの宮相撲形式での個人戦が行われ、迫力ある取組に会場から大きな歓声と拍手が飛び交いました。

写真3 写真4
9/ 7 泥中の熱戦

篠山クラブ(松本仁志会長)主催による「第24回県境篠山騒動どろんこサッカー大会」が篠山小学校体育館横の田んぼで開催され、県内外から一般の部に38チーム、女子の部に11チームが出場して泥まみれの熱戦を繰り広げました。

一般の部では、本町の「池田牧場 with 遊厨」が大会3連覇を達成し、女子の部は「このみに愛を。JAPAN!Fin?」(松山市)が制しました。